["] 浄水器接続専用水栓 ▲ K335・K332〈各仕様共通〉

配管などの解氷のため解氷機を

ご使用の場合、水栓(給水管含む)

には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓や給水管が発熱 し、破損して家財などを濡らす財

産損害発生のおそれがあります。

禁止

- ■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。 この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- ■この取扱説明書はK335GN仕様のイラストで説明しています。

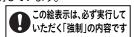
安全上のご注意

てください。

- ●ここに示した **│<u>↑</u>↑ 注 意**│は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけ ○ この板衣がある。 ない「禁止」の内容です

この絵表示は、 「分解禁止」の内容です



漏水をした|漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めて **場合の処置** ください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

小さいお子様だけの使用は避け

加工及び接合、市販浄水器具の 取り付け等の改造はしないでく ださい。

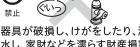


器具が破損し、けがをしたり、漏 水で家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。



器具が破損し、けがをしたり、漏 水で家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。

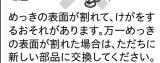
器具に乗ったり、よりかかったりし て無理な力を加えないでください。 吐水口先端に重いものを下げたり、 力をかけて回さないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏 水し、家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。

けがをするおそれがあります。

めっき部品は、ぶつけたり落とした りしないでください。また、鋭利な 物や硬い物を当てないでください。



レバーハンドル操作の急閉止は、配 管からの漏水を起こすことがありま すので、ゆっくり操作してください。



急に閉めると「ドン」という音がして配 管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡 らす財産損害発生のおそれがあります。

1ページ

禁止

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。 **00 0120-474-161** ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください 水栓に貼ってある品番シールでご確認くだ 技術料・ さい。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧く ださい

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様 ご相談センターにご連絡ください。 **ച**. 0570-099-552

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています …診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了 時の点検等の作業にかかる費用

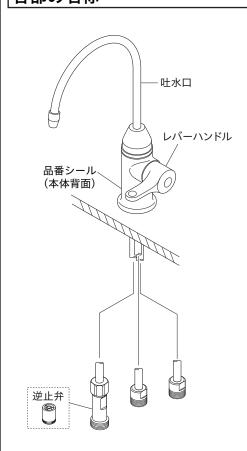
部品代・・・・修理に使用した部品代

出張料]…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

株式会社 KVK 本社·工場/〒501-1195岐阜市黒野308 インターネットホームページ http://www.kvk.co.jp/

ご使用の前に / ご使用方法

各部の名称



※逆止弁は仕様により付いていないものがあります。 仕様により形状が異なる場合があります。

吐止水方法

レバーハンドルを上に回すと吐水、下に回すと止水 します。



【 🛕 注意】

レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作し てください。急な操作や無理な力での操作はウォー ターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水に より家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあり ます。

(お願い)

浄水器用水栓は、レバーハンドルで止水しても、止 水するまでに若干の時間を要します。

これは本体・浄水器内の残圧によるもので、止水不 良ではありません。

浄水器の取り扱いは、浄水器側の説明書を参照して ください。

2ページ

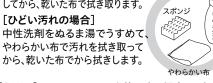
日常のお手入れ・保守

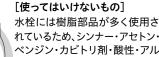
お手入れ方法

[軽い汚れの場合]

注

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗い してから、乾いた布で拭き取ります。





れているため、シンナー・アセトン・ ベンジン・カビトリ剤・酸性・アル カリ性系・塩素系洗剤等は使わ ないでください。金たわし・みがき 粉等は外観にキズが入るおそれが ありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

泡まつ器の清掃方法 (泡まつ吐水仕様の場合)

吐水口の泡まつ器がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃し

①吐水口の泡まつ器キャップをはずす方向にひねって、泡まつ器を取りはずします。 ② 泡まつ器をブラシで水洗いします。

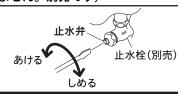




清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

| **流量の調節方法**(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)

流量の調節は右記の方法で行ってください。



定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 10年 11年 12年

摩耗劣化部品の交換[有料]

お客様による日常のお手入れ・点検 消耗部品の交換 (シャワーホース・パッキン等) [有料]

買い替え ご検討

部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)

例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

[🕂 注意] 中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機 能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

(逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。逆止弁は仕様により付いていないものがあります) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

配管まわりの水漏れ(1か月に1回程度)

【 / 注意】

配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確 認してください。部品の劣化・摩耗などによって 生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を 未然に防止するために、配管まわりの点検を行っ てください。



水栓取り付け部のがたつき(1か月に1回程度)

【 注意】

水栓取り付け部のがたつきがないか確認してくだ さい。がたついたままお使いになると、配管に負 担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発 生のおそれがあります。



故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処 置	参照ページおよび項目
吐水量が 少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	3ページ 「流量の調節方法」
	(泡まつ器仕様の場合) 泡まつ器にゴミ等がつまっていませんか	(泡まつ器仕様の場合) 泡まつ器を清掃する	3ページ 「泡まつ器の清掃方法」
	(泡まつ器仕様の場合) 泡まつ器には凍っていませんか	(泡まつ器仕様の場合) 泡まつ器にぬるま湯をかける	_
	浄水カートリッジの寿命がきていませ んか	浄水カートリッジを交換する	_
吐水が 飛び散る	(泡まつ器仕様の場合) 泡まつ器にゴミ等がつまっていませんか	(泡まつ器仕様の場合) 泡まつ器を清掃する	3ページ 「泡まつ器の清掃方法」

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

[注意] 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。 水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

施工説明書

施工業者様へ この施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

■この施工説明書はK335GN仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはい けない「禁止」の内容です

・ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

禁止



注

加工及び接合、市販浄水器具の 取り付け等の改造はしないでく ださい。



器具が破損し、やけど・けがをし たり、漏水で家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。 配管などの解氷のため解氷機を ご使用の場合、水栓(給水管含む) には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓や給水管が発熱 し、破損して家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。





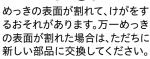
器具が破損し、漏水で家財などを 濡らす財産損害発生のおそれがあ ります。

止水栓取り付け箇所や給水管との 接続箇所は、点検口を設けるなど点 検しやすい状態にしてください。



点検ができないと万一漏水発生時 には発見が遅れて家財などを濡ら す財産損害発生のおそれがあります。 めっき部品は、ぶつけたり落とした りしないでください。また、鋭利な 物や硬い物を当てないでください。





配管接続部をテーパねじに接続 しないでください。



ーパねじに接続すると、接続部が ゆるんだり、パッキンが切れたりし て、漏水で家財などを濡らす財産損 害発生のおそれがあります。

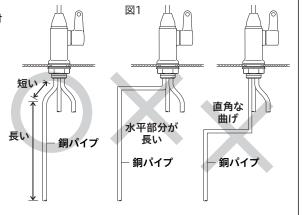
1ページ

銅パイプの配管

図のように垂直部分が長くなるように取り付 けます。

【 / 注意】

- ・給水パイプは大きな曲げ半径になるよう に曲げてください。鋭角に曲げたり水栓 の根元で曲げたりしないでください。 図1のような無理な配管はしないでくださ い。配管の抜けや亀裂や破損の原因とな り、漏水して家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。
- ・給水配管は動かないように固定してくだ さい。銅パイプが抜け、漏水して家財な どを濡らす財産損害発生のおそれがあり ます。



止水栓との接続

① 逆止弁ジョイントを別売のフレキホー ス等に仮固定した後、銅パイプの必要 な長さを測り、仮固定していた逆止弁 ジョイントをはずし、銅パイプを切断 してください。

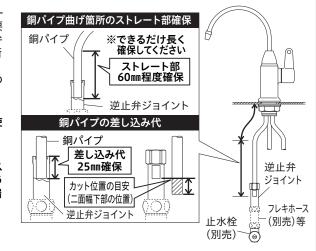
このとき、ストレート部60mm(パイプの 差し込み代25mm)確保してください。

【お願い】

銅パイプの切断はパイプカッターをご使 用ください。

【 1 注意】

銅パイプ切断および曲げ時に銅パイプス トレート部には変形や傷などはないよう にしてください。変形や傷などにより、漏 水の原因となります。

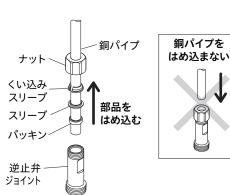


② 逆止弁ジョイントから図の部品をはずします。 ナット、くい込みスリーブ、スリーブ、パッキンの順 に銅パイプにはめます。

【 / 注意】

・部品をはずして銅パイプにはめ込んでください。 部品をはずさない状態で銅パイプを逆止弁ジョ イントにはめ込むと、パッキンが切れ、漏水し て家財などを濡らすおそれがあります。

・部品は正しくはめ込んでください。特にパッキ ンがねじれた状態ですと、漏水の原因となりま



- ① 使用水圧 (給水圧力)最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ③ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ④ 本製品の通水温度は、35℃以下です。
- ⑤ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではあり ません。
- ⑥ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け手順

給水管内の清掃

配管工事後、必ず給水管内を清掃してください。

止水栓(別売)の取り付け

止水栓はストレーナ付が最適です。







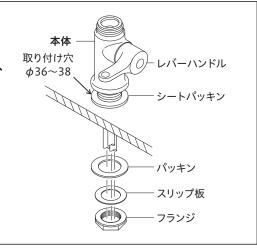
3 本体の取り付け

本体をフランジで固定します。

【 / 注意】

- ・レバーハンドルを持って締め付けますと、破損し、 漏水のおそれがありますので、これらは持たない でください。
- ・フランジの締め付けは、専用工具G11(別売)で 確実に行ってください。しっかり締め付けられて いないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、 漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれ があります。



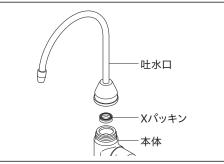


吐水口の接続

吐水口を本体に接続します。

【お願い】

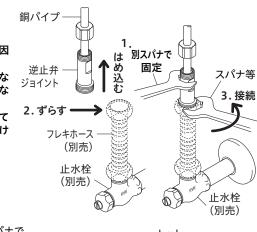
締め付けの際は、工具等で傷がつかないように してください。



2ページ

③ 逆止弁ジョイントを別売のフレキホース等からはずした状態で銅パイプにはめ込んでから接続します。 【 🕂 注意】

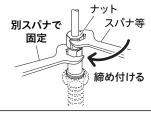
- ・接続は適切な工具で締め付けてください。 締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。 締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因 となります。
- 薄肉の接続管には、逆止弁ジョイントを接続しな いでください。パッキンが切れ、漏水して家財な どを濡らすおそれがあります。
- ・止水栓がしっかり固定されているこをと確認して ください。固定されていないと、銅パイプが抜け 漏水の原因になります。



④ 逆止弁ジョイントが共回りしないように、別スパナで 固定しながらナットを締め付け、銅パイプと逆止弁ジ ョイントを接続します。

【 🛕 注意】

接続は適切な工具で締め付けてください。 締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。 締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因とな ります。



6/ 浄水器との接続

浄水器との接続は、浄水器側の説明書を参照してください。

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【⚠ 注意】 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがな いことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

泡まつ器清掃のお願い(泡沫吐水仕様の場合)

吐水口の泡まつ器がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

「取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

流量調節

レバーハンドルが全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照